

Danieli Innovaction Meeting で講演を行いました。

10/3~5 の3日間、イタリア・ブットリオにて第4回 Danieli Innovaction Meeting が開催され、70カ国から約600人が参加しました。



当社代表取締役社長 西本利一は「スクラップ発生量の増大が予想される中で、高級スクラップや銑鉄に頼らない製鋼技術の開発がますます重要になってくる。当社では高品質の薄板製品の生産にあたって、市中発生のお廃スクラップのみで製造する技術を既に確立している。2050年はパリ協定の年だが、世界の鉄鋼備蓄量は550億トン、そこから発生するスクラップは年間15億トン、そして鉄鋼需要は年間20億トンとなるという研究がある。つまり、需要の70%がリサイクル鋼材でカバーできることを意味している。これからの低炭素・循環型社会の実現に向けては、電炉が果たす役割はより重要になってくる。」とスピーチしました。

また、6月に発表した「TOKYO STEEL ECOVISION 2050」の紹介を行い、低炭素・循環型社会での当社や電気炉の果たす役割の重要性を強調しました。